

令和4年度 住まい環境整備モデル事業
【事業育成型】

提案内容の概要

**事業名称：困窮暮らしに花が咲く
「3分の1生活」のための環境整備事業**

**代表提案者：一般社団法人umau.
理事 中村路子**

1. これまでの取組



一般社団法人

umau.



2014年12月～(約4年間)

コミュニティメンバー32世帯

ママをひとりにしない母子家庭団体SWAK

- 大家族会(ライフイベント)
- シングルマザーズカフェ(イベント出店)
- 親子の夢実現企画(ドレス撮影会・職業体験)
- 就職・転職サポート(派遣会社と連携)

2019年1月～(約2年間)

合同会社umau.

コミュニティメンバー85世帯

- umau.Bar(ひとりのママへの入院費稼ぎ)
- フードバンク配達(約35世帯～)
- 実家よりも実家じじっか立ち上げ(拠点)2020.7
- 親子食堂(毎週金土曜日夜)2020.7～
- 久留米市こども見守り強化事業(食事訪問・学習訪問)2020.10～



2021年3月～(現在)

一般社団法人umau.

コミュニティメンバー230世帯

- 休眠預金: 福岡子ども若者困窮者応援笑顔創造事業2021.7～2022.2
【じじっかファミリープログラム】(シェアメニュー開発)2021.7～
- 日本財団: 子ども第三の居場所事業2021.11～
【じじっか337プロジェクト】(じじっかパーク設立)2021.11～
- 親子食堂(毎週金土日昼)2021.11～
- 休眠預金: 長期化する若者の「コロナ失職」包括支援事業2022.5～2023.2
【若者の就業計画3人4脚プロジェクト】2022.6～
- じじっか大牟田設立 2022.11.7～

1. これまでの取組

役員の経歴

代表理事 佐藤有里子

理事 中村路子

▶株式会社キャリアリード代表取締役

人材派遣事業／設立2002年7月30日

▶認定特定非営利活動法人わたしと僕の夢

困窮世帯の子どもたちへの無料塾／設立2010年

▶ダイバーシティ就労支援事業

久留米市地域福祉課事業／2022年6月スタート

▶合同会社ビジョナリアル共同代表

まちづくり会社／設立2016年7月1日

▶久留米移住計画副代表

久留米市広報課事業／2019年～

▶AUーformal実行委員会

久留米市地域福祉課事業／2022年8月スタート

多様なスタッフ

ネイリスト

高校
教師

保育士

介護士

視覚障害
支援団体
代表

栄養士

里親
経験者

清掃業者

WEB
デザイナー

グラフィック
デザイナー

家庭科技術者

アレルギー食
アドバイザー

(行政機関)久留米市

福祉・医療・教育関係

まちづくり関係

事業者関係

久留米市の現状

貧困とは

「経済的」以外にも
「コミュニケーション力」
『時間管理能力』
『価値観の偏り』

子どもの貧困数

全国
6人に1人
久留米市
4人に1人

スキルアップ

給付金
病児保育
転勤斡旋

母親を向上させるサポートは整っているのが現状

問題意識

困窮している状態とは？何が原因で『貧困』になっているのか？

今のままでも、幸せになれるサポート体制はどうなのか？

誰もが安心して、支えあいながら暮らしていけるまちづくり

3分の1生活

人と人々が**支え合い**共生することで
生活に余白をつくり豊かになっていく暮らし方



「**貧困**」をテーマにしている、わたし達の活動の中で見えてきた
課題・希望・本心・困難を「**支え合う**」手法を探し出し
カタチにしていくことで可能にしていく



① 働く場の環境整備

就労支援事業

- ↳ 自分の生活に直結する商品の開発個数
- ↳ 社会復帰・参画に向けた働き方の提案



相互扶助就労事業

- ↳ 寄附物品を商品化し販売売上
- ↳ 働きがいのある関係性（就業満足度）



② 居場所の環境整備

マザーズハウス

- ↳ ゼロプレイスとして地域に必要である姿となる
- ↳ 必要とする方々の利用回数

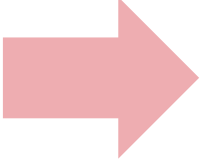


児童養護施設として

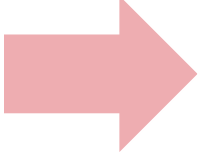
- ↳ 子どもを安全に守るための機能を持ち合わせているか
- ↳ 安心な生活を過ごせる環境を目指す

4. 期待される成果

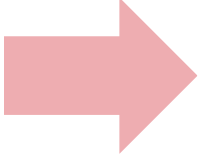
- 1 不要になったものを「再生」していくための手法と設備の検証



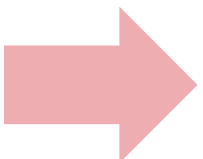
私たちの活動に沿う5つの**再生商品**が見つかり、必要設備などの計画も具体的にできている状態になる。
- 2 再生した商品の販売先や流通システムの検証と構築



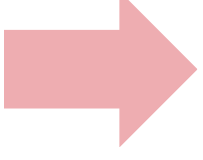
5つの商品の流通が決まり、多様な人たちの働く場・働く機会を創出できる事業が確定している状態。
- 3 支援する側とされる側に分かれず多様な人たちが混ざり合った働く場の検証



多様な環境や立場や特性の方々のニーズがわかり、それらに対応している働く場の企画が完成している状態。
- 4 マザーズハウス設立のための制度・物件・ニーズ・企画の検証



良き物件が見つかり、地域に必要なとされる仕組みを持てるマザーズハウスの事業計画を立てている状態。
- 5 困窮暮らしをしている当事者への課題や希望などの検証



具体的な困り事から導き出した、これから地域に必要なツールや場、機会などを創出計画を想像している状態。

課題設定型にて

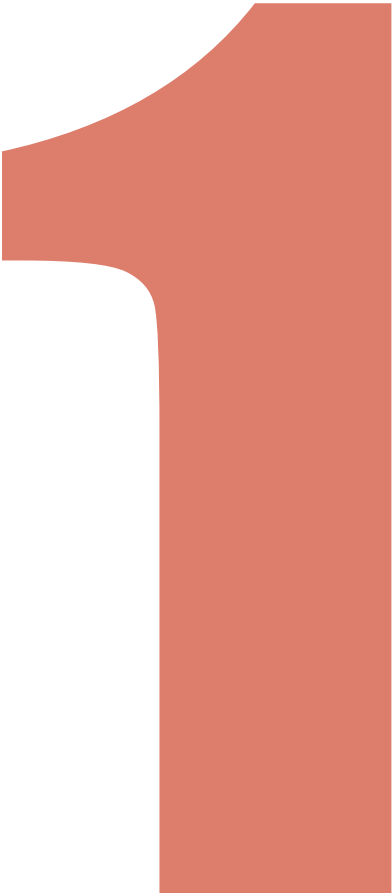
テーマ②

**多様な世帯の互助を
促進する地域交流拠点
での申し込みを行う。**

働く場の環境整備

不必要なものを再生し暮らしに戻していく

Re暮らしプロジェクト（就労支援事業の開設）

- 
- 1: 使わなくなったものを
再生していく商品開発
 - 2: 働きにくかった人達の
働く前の働く場としての展開
 - 3: 再利用する喜びを持てる地域へ

居場所の環境整備

愛のある関わりと希望を持てる環境をつくる

ゼロプレイスプロジェクト（マザーズハウスの開設）

- 
- 1:泊まりのできる体制・環境の確保
 - 2:子育てにおける家庭内課題への
着手・広報・連携・申請
 - 3:親亡き後、孤立した子ども達を
中心とした未来創造拠点へと

困窮暮らしに花が咲く

「3分の1生活」のための環境整備事業

